

令和6年度

文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

愛知県常滑市

自治体名：愛知県常滑市

担当課名：学校教育課

電話番号：0569-47-6129

1.自治体の基本情報



基本情報（R7.2月1日現在）

| | |
|------------------------|-----------------------|
| 面積 | 55.90 km ² |
| 人口 | 58,603人 |
| 公立中学校数 | 4校 |
| 公立中学校生徒数 | 1852人 |
| 部活動数 | 51部活 |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況 | あり方検討委員会設置済 |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 常滑市地域クラブ取組方針策定 |

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市は南北に長い地形を有しており、中学校は4校存在するが、各校の立地が離れている。中央に位置する中学校は土地開発に伴い人口が多いが、北部・南部の中学校では人口減少が進行しており、部活動の種目数や各活動あたりの参加人数が減少傾向にあるため、部活動の維持管理が課題として挙げられている。

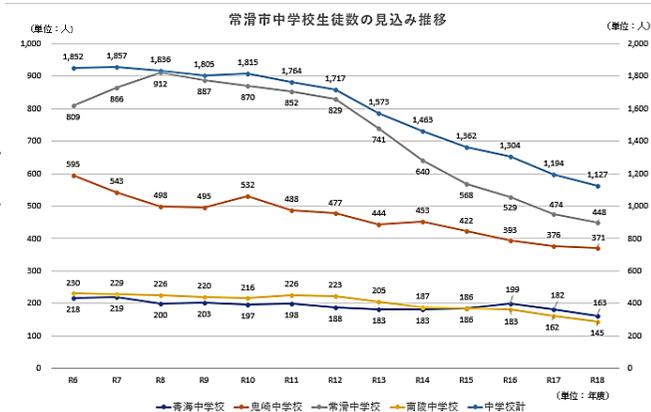
こうした現状を踏まえ、本市では中学校の部活動に関し、令和5年度から令和7年度までの3年間で「改革推進期間」とする国のガイドラインに基づき、『休日部活動の地域移行』を、サッカー、剣道、卓球、柔道、吹奏楽の各種目において試行してきた。そのような中、今年度は生徒、保護者、教職員を対象にアンケート調査を実施し、文化・スポーツ団体関係者に対しても聴き取り調査を行うとともに関係者による部活動の在り方検討委員会を設置し、市の今後の方針について検討してきた。

検討委員会においては、どのような体制であれば持続可能な部活動改革が実現可能であるかを議論し、最終的に令和8年9月より既存の地

域団体の活動に参加する形で地域クラブ活動を推進する方針を示した。

今後は各団体との連携を図り、地域クラブとして多くの団体の協力を得るよう調整を進めるとともに、持続可能な体制整備を推進していく。

一方で、課題として上げられることは、活動費用が市単独での予算での継続は困難であること、どこまでの種目が用意できるのかといったことが上げられる。いずれにしても、活動費用については、保護者負担の考え方とともに、国・県からの支援も求めていきたいと考えている。

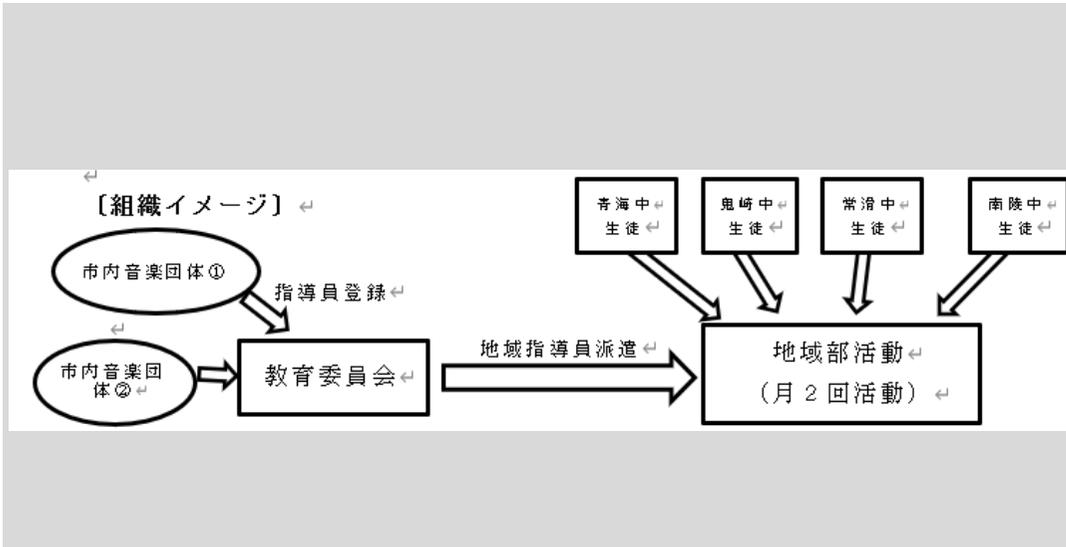


出典：常滑市教育委員会より

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校教育課・・・文化部の地域移行担当、部活動改革
- ・生涯学習スポーツ課・・・運動部の地域移行担当、地域クラブ活動の整備

◎首長部局

- ・財政課・・・予算措置

年間の事業スケジュール

令和6年4月 2～3年生吹奏楽クラブ募集

令和6年6月 吹奏楽クラブ関係者会議

令和6年7月 第1回あり方検討委員会

令和6年8月 児童生徒、保護者、教員
アンケート

令和6年9月 1年生吹奏楽クラブ募集

令和6年10月 第2回あり方検討委員会

令和6年11月 第3回あり方検討委員会

令和6年11月 校長・教員への説明

令和6年12月 教育委員会での部活動改革の決定

令和7年1月 新1年生に対する周知

令和7年2月 吹奏楽クラブ関係者会議

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

| | | | |
|----------|----------------------------------------------|-------------|------------|
| 中学校数 | 4校 | 実施した地域クラブ総数 | 1クラブ |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数） | | 4クラブ（吹奏楽部） |
| | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） | | なし |
| 全体の指導者数 | 5人 | 全体の運営スタッフ数 | 20人 |

②各クラブに関すること

| クラブ名 | 運営団体種別 | 種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける | 実施回数 | 実施時間帯 | 参加者 (学年別) | 実施期間 | 活動場所 | 指導者数 | 運営スタッフ数 (他クラブと兼務) | 会費 | 大会参加方法 |
|---------------|-------------|-------------------------|------|-----------------|-------------------------|-----------|----------------|------|----------------------|----|--------|
| 常滑市中中学生吹奏楽クラブ | 常滑市ジュニア吹奏楽団 | 吹奏楽 | 月2回 | 13:00~ 16:30 | 1年23人 2年22人 3年26人 | 4月~ 3月 | 常滑市民文化会館・中央公民館 | 5人 | 20人 | 無料 | 部活動 |

③その他、体験会やイベント等の開催実績

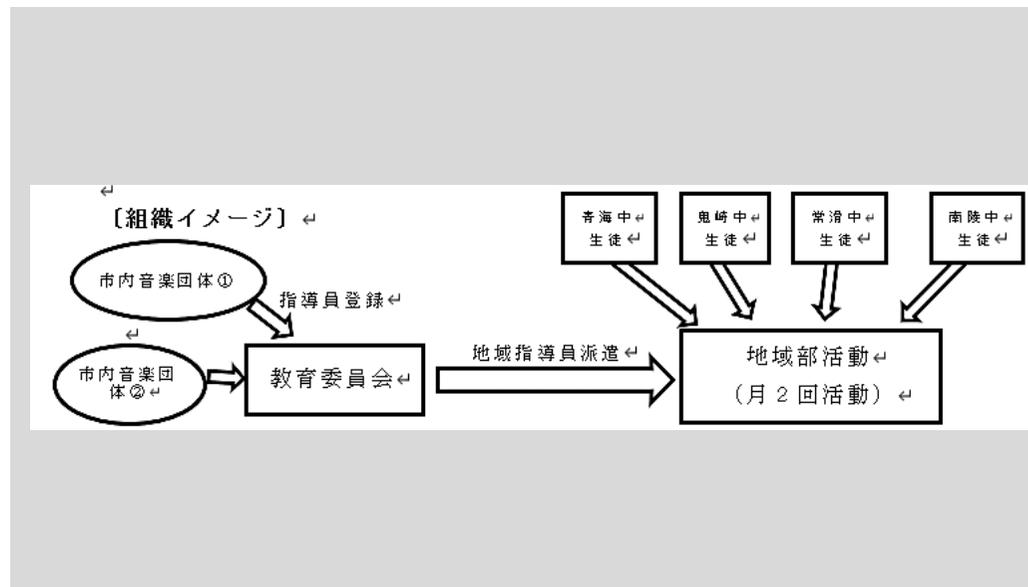
- 公開練習、ミニコンサートの実施

主な取組例

●常滑市中学生吹奏楽クラブ 活動概要

| | |
|-----------------|-----------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目 | 吹奏楽 |
| 運営団体名 | 常滑市ジュニア吹奏楽団 |
| 期間と日数 | 吹奏楽：月2回程度 テスト週間や大会1か月前を除く |
| 指導者の主な属性 | 地域の音楽団体、中学校教員 |
| 活動場所 | 常滑市民文化会館・中央公民館 |
| 主な移動手段 | 保護者の送迎 |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 吹奏楽：無料円 |
| 1人あたりの保険料 | スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：800円/年 |

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 主指導者 1名
役割：全体練習の統括を行う
- 指導者 4名
役割：合奏練習やパート練習を行う
- サポーター 15名
役割：来れるとき練習サポートを行う
- 運営補助者 3名
役割：印刷物や楽譜、当日の事務作業を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○学校部活動顧問との関係者会議を行い、意見交換を行う。

○地域クラブ活動指導者との定期的な打ち合わせを行う。

取組の成果

○学校部活動の顧問との定期的な打ち合わせを通じて、生徒のニーズや現状の課題が明確になった。特に1年生については、合奏練習において全体での練習が難しいという実情があったので、各生徒の習熟度に応じた指導を行うため、パートごとの練習時間を増やす取組を実施できた。この変更により、1年生一人ひとりが自分の担当パートに集中でき、技術の向上や自信の育成ができた。また、個々のパート練習の成果が合奏全体の質の向上にも寄与するため、活動全体のパフォーマンスの底上げにもつながったと考えている。

○関係団体との定期的な打ち合わせを重ねることで、令和7年度以降の中長期的なビジョンが具体的に見えてきた。

今後の課題と対応方針

○部活動単位での定期的な打ち合わせは、顧問と関係者が部活動の運営方針や課題を共有し、協力して改善策を検討する上で重要だが、継続的に先生と指導者の十分な時間を確保することができるかどうかについては課題が残る。効率的な連絡手段の模索や、打ち合わせの頻度や形式の見直しを含めて、情報共有の場を整える必要があると考える。

○生徒一人ひとりのニーズに応じた指導を取り入れることを目指したが、個々の生徒のレベル差が大きく、全体での合奏練習が一部の生徒には難しい状況となった。逆に高いレベルの生徒には物足りなさを感じさせることもあり、バランスが難しい。また、指導員の人数も含めて、指導者が各生徒に合わせた細やかな指導を行うのは非常に難しく、全体の指導の質を維持するためには、パート練習や初心者練習、個別のフォローアップなど、追加の工夫が必要と考える。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

○協力体制のある3団体には、引き続き指導者やサポーターの派遣を依頼し、指導力の確保に努めた。また、これらの団体との連携を強化することで、持続的な支援体制の確立を目指す。

○関係大学との連携により、演奏技術の高い人材による指導機会の確保にも努めた。専門的に楽器を習っている指導者によるパート練習を実施することで、生徒たちが技術や表現方法を学ぶ貴重な機会となった。

登録者属性

地域の音楽関係者17名
兼職兼業教職員3名

種目

・吹奏楽

資格有無

・無し

取組の成果

○専門性の高い学生を活用することで、先進的な知識や技術を地域クラブ活動に取り入れることができた。これにより、正しい楽器の取り扱いを学ぶことができ、全体としての技術レベルの向上につながった。

○地域クラブ活動の試行により、部活動顧問が従来担っていた部活動業務の一部が地域クラブ活動となったことで、年間約46時間分の時間外労働を削減することができ、教育本来の業務に専念できる環境が整備された。

○主指導者が、指導者、参加用の指導書を作成し、そちらを利用することで、主指導者が不在でも活動が実施できるようにした。

今後の課題と対応方針

○指導者の研修時間の確保ができず、指導者研修会を実施することができなかった。しかし、今後は至学館大学や愛知県吹奏楽連盟が、指導者の研究や育成に力を入れていく方針を示しており、これらの取り組みを活用することで、指導者の専門性や指導技術の向上につながると考えており、状況に応じて柔軟に連携・参加を進めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○関係大学との連携により、演奏技術の高い人材による指導機会の確保にも努めた。専門的に楽器を習っている指導者によるパート練習を実施することで、生徒たちが技術や表現方法を学ぶ貴重な機会となった。

○生徒の輸送に関して、コミュニティバスが利用できるような時間帯で実施した。

取組の成果

○専門性の高い学生を活用することで、先進的な知識や技術を地域クラブ活動に取り入れることができた。これにより、正しい楽器の取り扱いを学ぶことができ、全体としての技術レベルの向上につながった。

○地域音楽団体の協力を得て、当日運営の補助を行った。

○コミュニティバスの利用できる場所で実施したが、楽器を自身で持ってくる必要があることから、利用はなかった。



バス等の運行実績

- ・日数 10日
- ・利用者数 0人
- ・運行経路 各バス停⇒常滑駅

バス等の運航経費・収入

- ・人件費 なし
 - ・利用料 無料
- 市のコミュニティバスを利用できる

今後の課題と対応方針

○コミュニティバスが利用可能な時間帯に実施したが、利便性の問題から利用者はいなかった。現在、市内の1か所に集まって実施する方式を試行中であり、楽器及び生徒の運搬が必須となるため、今後はこれを上手く活用していきたいと考えている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

○中学生吹奏楽クラブの運営にあたり、一か所で集約する形で実施した。

各自治体の役割

- 常滑市教育委員会
 - ・地域クラブ運営、予算管理
 - ・関係団体との連絡・調整
 - ・部活動改革の方針策定
 - ・学校関係者に対する説明
 - ・児童生徒保護者に対する広報
 - ・謝金等の支払い

移動手段

- 自転車、保護者による送迎

事務局運営の方法

- 教育委員会職員が地域クラブ活動事務局を担う。

取組の成果

- 希望する生徒を常滑市文化会館・中央公民館に集約する形で地域クラブ活動を実施した。
- 常滑市文化会館・中央公民館に集約して実施すると、ジュニア吹奏楽団及び吹奏楽団にご協力を頂き、大型楽器を借用することができるため、大型楽器の確保が可能な環境が整った。
- 異なる学校の生徒同士が交流し、合奏練習を行うことで、音楽を通じた新たなつながりが生まれ、協調性やコミュニケーション能力の向上にもつながった。

今後の課題と対応方針

- 集約型での実施は、指導者の確保や楽器確保、管理上の問題により、困難であった。
- 生徒や楽器の輸送が生じてしまうが、保護者に一定の協力を求める形で実施する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

○少しでも生徒が楽しく練習できるように、生徒たちの希望により、演奏曲を設定した。

○生徒たちの習熟度が違い、合奏練習ができないことが生じたため、初心者練習、パート練習を実施した。

○楽器演奏は、専門家による指導を受け、正しい形で演奏することが、上達するための近道となるため、専門家（音大生）による指導を実施した。

○運営団体による当日運営の実施。

活動の詳細

| 参加人数 | 71人 | 指導者数 サポーター | 5人 15人 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------|----|----|-----|-----------|-------|-----------|------|-----------|-----|----------|--------|----------|-----|----------|----|-----------|
| 属性 | ・地域音楽団体関係者 ・兼職兼業教職員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 具体的な内容 | ・大人数での合奏練習 ・パート練習 ・専門的なパート練習 ・演奏会 ・ホール練習 全10回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 子供の声 | <ul style="list-style-type: none"> 自分たちのやりたい曲をやらせてもらったので楽しい。 パートごとに教えてくれる指導者がいるから、聞きやすく分かりやすい。 専門的に楽器を勉強しているの音大生の先生の指導が良かった。 大人数での演奏が楽しい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関係者の声 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの活動の場を作ることで、将来に渡って音楽を楽しむ機会をつくりたい。 習熟度に応じた練習をしてあげたい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運営経費 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動費</td> <td>¥ 525,542</td> </tr> <tr> <td>謝金+旅費</td> <td>¥ 331,240</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>¥ 194,302</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>¥ 53,880</td> </tr> <tr> <td>事務局運営費</td> <td>¥ 50,000</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>¥ 50,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>¥ 629,422</td> </tr> </tbody> </table> | | | 項目 | 費用 | 活動費 | ¥ 525,542 | 謝金+旅費 | ¥ 331,240 | 消耗品費 | ¥ 194,302 | 保険料 | ¥ 53,880 | 事務局運営費 | ¥ 50,000 | 人件費 | ¥ 50,000 | 合計 | ¥ 629,422 |
| 項目 | 費用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動費 | ¥ 525,542 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 謝金+旅費 | ¥ 331,240 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 消耗品費 | ¥ 194,302 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保険料 | ¥ 53,880 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務局運営費 | ¥ 50,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人件費 | ¥ 50,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | ¥ 629,422 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

・市の方針を定めるため、全体の小中学生の意向を確認するために小学5、6年生、中学1、2年生（計2,103名）及びその保護者、中学校教職員を対象にアンケートを行った。

<結果>

①児童・生徒（小5～中2）

地域クラブ活動は、競技志向・勝利至上主義ではなく、人生を楽しく豊かにするため、適度に参加したい傾向

②保護者

技術向上や精神面で強くなることを望む声強い傾向にあるものの、楽しさや仲間づくりを最も重視（送迎・経済面、けが等緊急対応への不安も）

③教員

やりがいはあるが、プライベート時間が削られ、大会引率などの負担大

今後の課題と対応方針

○地域クラブ活動に参加したいと考えている児童生徒は約46%であり、過半数には達していない。参加しない理由としては、「好きなことに時間を使いたい」「休養したい」など、自分の時間やリフレッシュの時間を大切にしたいという意見が多く挙げられた。

地域クラブ活動に期待することは



お子さんが学校部活動に参加することへの期待



部活動指導のやりがいは



部活動指導の負担は



出典：部活動の地域移行に関するアンケート結果（R6.8現在）資料より

また、「部活動にはない種目を含め、多種目の活動を実施してほしい」といった要望もあるが、新たに多種目の活動ができるかどうかについては課題が多くある。そのため、多くの団体に協力を呼びかけながら、活動の充実を図っていく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

・常滑市中学生吹奏楽クラブをととした活動経費及び今後、団体での活動が地域クラブとなった場合の年間24回分の活動経費等の試算を行った。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

- ・楽器購入費：1楽器100万円以内×必要数
- ・事務用品（マイク、プリンターなど）：20万円

■ランニングコストの分析

1年間活動した際の費用を想定
 支出（24回分）

| | 項目 | 費用 |
|--------|-------|-------------|
| 活動費 | | ¥ 1,952,579 |
| | 謝金+旅費 | ¥ 794,976 |
| | 会場使用料 | ¥ 441,278 |
| | 消耗品費 | ¥ 466,325 |
| | 楽器修繕料 | ¥ 250,000 |
| 保険料 | | ¥ 53,880 |
| 事務局運営費 | | ¥ 240,000 |
| | 人件費 | ¥ 120,000 |
| | 消耗品費 | ¥ 120,000 |
| | 合計 | ¥ 2,246,459 |

出典：常滑市教育委員会より

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

○活動を運営するためには、活動経費が多く係るため、実現可能性を含めて、様々な想定での試算を行った。

（詳細は次ページ参照）

収支バランス

○活動を運営するためには、活動経費が多くなるため、実現可能性を含めて、様々な想定での試算を行った。

（詳細は次ページ参照）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

出典：常滑市教育委員会より

<収入>

| 項目 | パターン① <収入> ・保護者負担入会金：2000円 ・保護者負担月額：3000円 | パターン② <収入> ・保護者負担入会金：2000円 ・保護者負担月額：2000円 | パターン③ <収入> ・保護者負担入会金：2000円 ・保護者負担月額：1500円 | パターン④ <収入> ・保護者負担入会金：2000円 ・保護者負担月額：1000円 | パターン⑤ <収入> ・保護者負担入会金：2000円 ・保護者負担月額：500円 |
|--------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 保護者負担額 | ¥ 2,230,000 | ¥ 1,534,000 | ¥ 1,186,000 | ¥ 838,000 | ¥ 490,000 |
| 入会金 | ¥ 142,000 | ¥ 142,000 | ¥ 142,000 | ¥ 142,000 | ¥ 142,000 |
| 月額 | ¥ 2,088,000 | ¥ 1,392,000 | ¥ 1,044,000 | ¥ 696,000 | ¥ 348,000 |
| 合計 | ¥ 2,230,000 | ¥ 1,534,000 | ¥ 1,186,000 | ¥ 838,000 | ¥ 490,000 |

<支出>

| 項目 | パターンA ・国、県、市負担なし | パターンB ・会場使用料：市負担 | パターンC ・会場使用料：市負担 ・運営事務：団体負担 | パターンD ・謝金+旅費：内部指導員は 団体負担 ・会場使用料：市負担 ・運営事務人件費：団体負担 | パターンE ・謝金+旅費：内部指導員は 団体負担 ・会場使用料：市負担 ・事務局運営費：国県市負担 |
|---------|---------------------|---------------------|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 活動費 | ¥ 2,052,579 | ¥ 1,611,301 | ¥ 1,611,301 | ¥ 1,176,485 | ¥ 1,176,485 |
| 謝金+旅費 | ¥ 794,976 | ¥ 794,976 | ¥ 794,976 | ¥ 360,160 | ¥ 360,160 |
| 会場使用料 | ¥ 441,278 | 市負担 | 市負担 | 市負担 | 市負担 |
| 消耗品費 | ¥ 466,325 | ¥ 466,325 | ¥ 466,325 | ¥ 466,325 | ¥ 466,325 |
| 楽器修繕料 | ¥ 250,000 | ¥ 250,000 | ¥ 250,000 | ¥ 250,000 | ¥ 250,000 |
| 楽器購入積立金 | ¥ 100,000 | ¥ 100,000 | ¥ 100,000 | ¥ 100,000 | ¥ 100,000 |
| 保険料 | ¥ 53,880 | ¥ 53,880 | ¥ 53,880 | ¥ 53,880 | ¥ 53,880 |
| 事務局運営費 | ¥ 240,000 | ¥ 240,000 | ¥ 120,000 | ¥ 120,000 | 国県市負担 |
| 人件費 | ¥ 120,000 | ¥ 120,000 | 団体負担 | 団体負担 | 国県市負担 |
| 消耗品費 | ¥ 120,000 | ¥ 120,000 | ¥ 120,000 | ¥ 120,000 | 国県市負担 |
| 合計 | ¥ 2,346,459 | ¥ 1,905,181 | ¥ 1,785,181 | ¥ 1,350,365 | ¥ 1,230,365 |

保護者を対象にしたアンケートによると、月額3,000円以内とする方が8割となった。そのため、収入としてパターン①～⑤を想定して集計をした。また、支出については、地域吹奏楽クラブを月2回開催した場合を試算し、パターンA～Eを想定して集計した。

今後の課題と対応方針

地域クラブの運営において持続可能性を考えると、パターンA～Dが想定される。この場合、保護者負担として3,000円程度を設定すれば、地域クラブ活動の運営は可能と考えられる。しかし、できるだけ保護者負担を抑える

ためには、公費負担が必要となる。一方で、その他の種目の活動については、一定の参加者が確保できれば問題はないものの、参加人数が少ない場合には運営費用の確保が課題となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

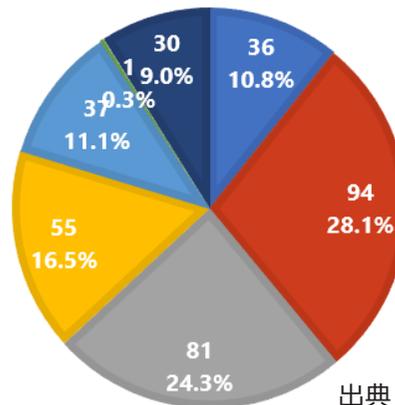
●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

資料

保護者アンケート

1か月あたりの費用負担は

| | 合計 | % |
|----------------|----|------|
| 100～500円まで | 36 | 10.8 |
| 600～1,000円まで | 94 | 28.1 |
| 1,000～2,000円まで | 81 | 24.3 |
| 2,000～3,000円まで | 55 | 16.5 |
| 3,000～5,000円まで | 37 | 11.1 |
| 5,000円以上 | 1 | 0.3 |
| 無料 | 30 | 9.0 |



1位 600～1000円
 2位 1000～2000円
 3位 2000～3000円

3000円以内が8割

出典：部活動の地域移行に関するアンケート結果（R6.8現在）資料より

地域クラブ活動に関する市の支援（今後、検討が必要）

① 団体への支援

- 中学生受入のための体制整備に関する補助：備品の整備、その他準備に係る費用 など
- 指導者に関する支援：指導者の確保、指導者育成のための支援 など

② 参加者への支援

- 地域クラブに関する周知
- 経済的に参加が困難な生徒への支援等

出典：常滑市議会令和6年12月協議会資料より

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

○保護者負担を少しでも軽くすること、経常的な活動場所を確保する考えから学校施設の利用の検討を行った。

取組の成果

音楽室は、本校舎の上層階に配置されていることが多く、他の校内施設と動線を明確に分けることが困難である。そのため、外部の人の出入りを伴う活動を実施する場合、セキュリティ上のリスクが高まることが懸念された。特に、一般の参加者や指導者が校舎内を通行する必要がある場合、児童生徒の安全確保の観点から課題が生じることもリスクとして挙げられた。

また、仮に音楽室を使用する場合、教職員による監督や管理が必要となり、その負担が大幅に増加することも想定された。具体的には、入退室の管理等の関係で、鍵の管理問題が挙げられる。さらに、セキュリティ強化に伴う設備投資や運営コストの増加も課題として考えられる。

これらの点を総合的に考慮した結果、学校施設を活用しての実施は現実的ではないと判断し、音楽室の使用は見送ることとなった。

今後の課題と対応方針

地域クラブの種目数が増えるほど活動場所の問題は増えることが想定されるが、実際問題として解決するためには多額の設備投資が必要となる。鍵の管理について、今後どのような形で実施していくべきか再検討する必要がある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

<地域クラブ活動>

令和6年度の地域クラブ活動は、生徒の要望に寄り添った形で実施され、昨年度より、良い成果を得ることができた。特に、団体による事務局運営を試行したことで、今後の活動への継続的なつながりが見込まれ、様々な成果が得られた。

一方で、活動を実施する上での課題もあり、今後さらなる対応案を検討していく必要がある。

<市の取り組み方針>

また、今後の市の取組方針としては、「見つけよう、スポーツ・文化活動への自分らしい参加の形」という基本理念の下、様々な活動の選択肢を提供し、地域のスポーツ・文化活動への参加を促進していく予定である。

特に、令和8年8月末をもって休日部活動を終了し、地域クラブ活動の正式運用を開始することを決定した。

●成果の評価

<地域クラブ活動>

地域クラブ活動の主な成果として、参加生徒が部活動とは異なる環境で楽しく活動できたこと、質の高い指導を受けられたこと、さらには他校の生徒との交流機会が増えたことが挙げられ、地域クラブ活動が、生徒にとって新たな学びや経験の場として一定の効果があることが分かった。

<市の取組方針>

今後の市の取組方針として、休日部活動の終了時期を明確にするとともに、地域クラブ活動の正式運用を令和8年9月から開始することを決定し、活動方式として既存の団体活動に参加する形を「地域クラブ活動」と定義したことで、移行の方向性が明確になり、持続可能な活動の基盤を整えることができたことは評価できる。

●今後に向けて

<地域クラブ活動>

令和7年度からは、市ジュニア吹奏楽団に委託し、ジュニア吹奏楽団の活動を地域クラブ活動とすることから、より一層の連携を行うとともに以下の課題についても取り組んでいく。

1. 保護者の送迎負担の軽減

一定の負担は避けられないものの、送迎の負担を少しでも軽減できるよう、効率的な運営方法を検討し、保護者の理解・協力を得ながら進めていく。

2. 習熟度に応じた指導体制の整備

参加者の技術レベルに応じた練習メニューを充実させる

3. 指導員の確保・育成

質の高い指導を継続的に提供できるよう、3つの団体と連携しながら指導者の確保・育成に取り組み、安定した指導体制の構築を目指す。

<市の取組方針>

今後、地域クラブ活動の環境整備を進めていくことが重要であると考えられる。今後も地域と連携しながら、子供たちの可能性を広げる活動の充実に向けて取り組む。

アンケート結果・広報資料



令和6年度
常滑市中学生吹奏楽クラブ員
大募集
大人数での吹奏楽を楽しんでみませんか

概要
市内全中学校の吹奏楽部の参加希望生徒が一堂に集まり、合奏練習を行います。楽器演奏経験の豊富な指導者・サポーターから指導を受けられます。

内容

- ・対象 市内中学校吹奏楽部
- ・活動日 月1~2回 土曜 午後
- ・会場 常滑市民文化会館・中央公民館
- ・会費 無料（試行期間のため）
- ・その他 演奏会も実施予定

令和5年度演奏会の様子（申込フォーム）



※詳細は裏面のとおり
お問い合わせ：常滑市教育委員会学校課有聲（0566-47-6129）

【生徒への参加チラシ】

出典：常滑市教育委員会作成



部活動の地域移行に関するアンケート結果(R6.8現在)



【アンケート結果】

出典：部活動の地域移行に関するアンケート結果（R6.8現在）資料より

結果：<https://www.city.tokoname.aichi.jp/kurashi/sportspark/1000999/1007348.html>

2.実証内容と成果③

参考資料（活動写真）



ホール練習（演奏会リハーサル練習）



【合奏練習】



【専門家によるパート練習】



【楽器整備の様子】

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年9月

まずは、剣道、サッカー、吹奏楽を対象に地域クラブ活動の実施を行い、本市にとって、どのような形の地域移行を実施すべきか検討を始めた。吹奏楽については、新たに中学生吹奏楽クラブを設置し、ジュニア吹奏楽団に運営団体としての協力を得ると共に市内音楽団体2団体に声をかけ、指導者についてご協力していただいた。

令和6年8月

児童生徒、保護者、教職員を対象にアンケートを実施し、学校部活動や地域クラブ活動に対してどう考えているのか、意識調査を行った。

令和7年4月

地域クラブ活動を実施するために各団体に声かけを行い、複数種目用意できるように進めていく。

令和5年

令和6年

令和8年

地域クラブ活動の試行開始

あり方検討委員会開始

アンケート実施、学校長との調整

教職員への周知、生徒、保護者への説明

地域クラブ活動の開始

地域クラブ活動の開始

令和6年7月

7月には、教育長、体育協会会長、文化協会会長、小中学校PTA連絡協議会会長、教育委員（保護者選出）中学校長で構成される「部活動のあり方検討委員会」を立ち上げ、部活動改革の時期やどのような形で実施していくか検討を行った。

令和7年1月

部活動のあり方検討委員会で決定した内容を基に市の方針を定め、教職員及び、新中学1年生及び現中学生とその保護者に周知を行った。

令和8年9月

休日の部活動を8月末で終了し、9月から地域クラブ活動を正式に運用開始するとともに、学校部活動から参加できる大会は、郡大会規模の大会のみとした。

3. 今後の方向性



地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

○取り組みの推移

